

## 早期体験学習

責任者・コーディネーター	臨床薬学講座薬学教育学分野 奈良場 博昭 教授 生物薬学講座機能生化学分野 中西 真弓 教授 臨床薬学講座地域医療薬学分野 高橋 寛 教授		
担当講座・学科(分野)	薬科学講座構造生物薬学分野、生物薬学講座機能生化学分野、臨床薬学講座地域医療薬学分野、薬科学講座天然物化学分野、生物薬学講座生体防御学分野、病態病理学講座臨床医化学分野、医療薬科学講座創剤学分野、生物薬学講座神経科学分野、病態薬理学講座薬剤治療学分野、臨床薬学講座臨床薬剤学分野、医療薬科学講座薬物代謝動態学分野、薬科学講座創薬有機化学分野、医療薬科学講座衛生化学分野、地域包括ケア講座、救急・災害・総合医学講座救急医学分野、救急・災害・総合医学講座総合診療医学分野、超高磁場 MRI 診断・病態研究部門		
対象学年	1	区分・時間数	実習 33 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

早期体験学習では、薬学の学習に対するモチベーションを向上させるため、薬剤師や薬学関連職種が活躍する現場を実体験することを目的とします。医療人として必要な倫理観を身につけるとともに豊かな人間性を涵養し、6年間の学びの礎を構築します。この科目は「薬学入門」と密接に関わっており、知識面での学びを同科目から補完し、それをグループワークや体験学習をとおして発展させていきます。

### ・教育成果（アウトカム）

医療関連施設の見学、種々の体験学習を行い、健康の維持と疾病を治癒することの大切さを実感し、医療コミュニケーション、疾病解析と予防、治療薬を開発するための基本的知識、技能、態度と倫理観を身につけることによって、医療人になることを自覚する。（ディプロマ・ポリシー：1～9）

### ・到達目標（SBO）

1. 医療倫理や臨床研究の規範に基づき、医療における患者の基本的権利を守り、患者の価値観や人間性に配慮することの重要性を認識する。
2. 患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療の在り方について討議する。（☆）
3. 救急救命法、心肺蘇生法、応急手当法の基礎を学び、模擬体験学習することによって、生命と向き合う医療人を自覚する。
4. 大学病院、薬局、各種施設などの医療現場を見学・体験学習（不自由体験など）し、患者さんの気持ち、医療チームを支える一員としての使命などについて討議する。
5. 人・社会が医薬品に対して抱く考え方や思いの多様性について討議する。（態度）
6. 人・社会の視点から薬剤師を取り巻く様々な仕組みと規制について討議する。（態度）

・ 講義日程

(矢) 東 101 1-A 講義室他

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
10/1	月	1・2	地域医療薬学分野 薬学教育学分野 機能生化学分野 機能生化学分野	高橋 寛 教授 奈良場 博昭 教授 中西 真弓 教授 後藤 奈緒美 助教	君はどんな態度・気持ちで早期体験学習に望むべきか (スモールグループディスカッションと発表)
		3・4	地域包括ケア講座 地域医療薬学分野 薬学教育学分野 機能生化学分野	野村 陽子 教授 高橋 寛 教授 奈良場 博昭 教授 中西 真弓 教授	地域包括ケアについて
10/2	火	2~4	救急・災害・総合医学講座 地域医療薬学分野 薬学教育学分野 機能生化学分野 天然物化学分野 衛生化学分野 分析化学分野	高橋 智弘 特任講師 高橋 寛 教授 奈良場 博昭 教授 中西 真弓 教授 林 宏明 准教授 米澤 正 助教 牛島 弘雅 助教	不自由体験 心肺蘇生法講習 (3・4 時限)
10/3 ・ 10/4	水 ・ 木		地域医療薬学分野 構造生物薬学分野 構造生物薬学分野 創薬有機化学分野 天然物化学分野 衛生化学分野 生体防御学分野 神経科学分野 薬剤治療学分野 臨床薬剤学分野 臨床薬剤学分野 臨床薬剤学分野	松浦 誠 准教授 毛塚 雄一郎 助教 阪本 泰光 助教 田村 理 准教授 浅野 孝 助教 川崎 靖 助教 白石 博久 准教授 藤田 融 助教 手塚 優 助教 富田 隆 准教授 千葉 健史 助教 平船 寛彦 助教	クラスを2つに分け2日間 で実施。  模擬体験 (1~4 時限) 10/3 (水) クラス 1 10/4 (木) クラス 2
			地域医療薬学分野 薬学教育学分野 構造生物薬学分野 創薬有機化学分野 神経科学分野 創薬有機化学分野 衛生化学分野 情報薬科学分野	高橋 寛 教授 奈良場 博昭 教授 野中 孝昌 教授 河野 富一 教授 駒野 宏人 教授 辻原 哲也 助教 杉山 晶規 准教授 佐京 智子 助教	病院見学 (3・4 時限) 10/3 (水) クラス 2
			地域医療薬学分野 薬学教育学分野 情報薬科学分野 生体防御学分野 臨床医化学分野 生体防御学分野 創薬有機化学分野 臨床医化学分野	高橋 寛 教授 奈良場 博昭 教授 西谷 直之 教授 大橋 綾子 教授 那谷 耕司 教授 丹治 貴博 助教 杉山 育美 助教 高橋 巖 助教	病院見学 (3・4 時限) 10/4 (木) クラス 1

10/5	金	1・2	救急・災害・総合医学講座 薬学教育学分野 天然物化学分野 生体防御学分野	山田 裕彦 准教授 奈良場 博昭 教授 林 宏明 准教授 錦織 健児 助教	ドクターヘリ見学
		3・4	超高磁場 MRI 診断・ 病態研究部門 薬学教育学分野 創剤学分野	佐々木 真理 教授 奈良場 博昭 教授 松尾 泰佑 助教	7 テスラ MRI 見学
10/9 ～ 10/11	火 ～ 木		地域医療薬学分野 薬学教育学分野 機能生化学分野 機能生化学分野 創薬有機化学分野 機能生化学分野	高橋 寛 教授 奈良場 博昭 教授 中西 真弓 教授 (9日) 後藤 奈緒美 助教 (10日) 稲垣 祥 助教 (11日) 關谷 瑞樹 助教	この期間の3日間で実施。 1日 : 午前にケアセンター 南昌見学 2日間: 2時間程度 2か所の 保険薬局見学
10/12	金	1～3	地域医療薬学分野 薬学教育学分野 機能生化学分野 機能生化学分野	高橋 寛 教授 奈良場 博昭 教授 中西 真弓 教授 關谷 瑞樹 助教	早期体験学習で学んだこと、 考えたこと (スモールグルー プディスカッションと発表)

・教科書・参考書等 (教:教科書 参:参考書 推:推薦図書)

	書籍名
	早期体験学習の手引き (早期体験学習ガイダンスで配布)

・成績評価方法

体験学習のため、全項目の参加とプロダクトの提出をもって100点とする。ただし、参加態度、遅刻、提出期限の延滞等により減点する。

・特記事項・その他

体験型学習のため自ら進んで積極的に参加することが望ましい。